

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第 89 号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1

TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854

□発行人：篠原 昭夫 HP : <http://ydpf.jp>

□編集人：篠原 昭夫・馬場 康二

山梨県歯科医師連盟機関紙

第 51 回衆議院議員総選挙総括

山梨県歯科医師会会長 篠原 昭夫

平素より会員各位には、本連盟に対して格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、高市早苗首相は、突如 1 月 23 日招集の通常国会において衆議院を解散すると表明し、2 月 8 日に第 51 回衆議院議員総選挙が行われました。今回の選挙は、国論を二分する大胆な政策を推進するとして高市早苗首相個人の信任を問うものとなりました。

寒冷地では大雪により多くの方が難儀しており、受験シーズンでもあるこの時期の解散は、国民に疑問を抱かせましたが、そのような中、選挙期間中、首相は全国各地を精力的に駆け回り、山梨県にも、1 区中谷真一候補のため、甲府駅北口で行われた街頭演説に来県されましたが、昨年の参院選の時とは比較できないほど多くの聴衆が集まり、首相の応援演説に聞き入っていました。

その結果、自民党は単独でも 2/3 を超える戦後最多の 312 議席を獲得、連立与党の日本維新の会 36 議席を含めると 352 議席を獲得し、安定多数 261 議席を大きく上回る与党の圧勝となりました。

一方、山梨県においては、1 区中谷真一氏が 128,168 票、2 区堀内詔子氏が 108,477 票を獲得し、選挙区での当選を果たしました。そして、18 日に招集された特別国会において、高市早苗氏は第 105 代首相に選出され、第 2 次高市内閣を発足させました。

さて、高市首相の人気によって与党は圧勝しましたが、国民は裏金による政治と金の問題を忘れてはいません。今後も選挙で復権した議員の行動や姿勢など自民党に対して厳しく監視する事でしょうし、財源のはっきりしない「責任ある積極財政」や、中国との関係悪化によるマイナス、スパイ防止法の制定、武器輸出規制など今後火種になりそうな案件が数多く存在します。

今後自民党が国民を無視する様なことがあれば、自民党の信頼は低下し、今後の幾多の選挙において惨敗する可能性も無いとは言えません。そうなれば再び少数与党に転落してしまうかもしれません。政治は国民のためのものです。高市首相をはじめ、与党議員には常に国民の声に耳を傾け、国民目線での政治を実行してくれるよう願います。

令和 7 年度 第 2 回山梨県歯科医師連盟評議員会開催

令和 8 年 2 月 26 日(木)19 時から、山梨県歯科医師会館 3 階ホールにおいて、リモート (Zoom) 併用で標記評議員会が開催されました。各報告の後、議事が協議され、第 1 号議案、第 2 号議案ともに全会一致で承認されました。

第 1 号議案 令和 8 年度山梨県歯科医師連盟事業計画(案)の承認を求める件

第 2 号議案 令和 8 年度山梨県歯科医師連盟収入・支出予算(案)の承認を求める件